



編集発行責任者 飯田 誠

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

### INDEX

01. 診療科紹介(眼科)
02. 診療科紹介(消化器・肝臓内科)
03. 診療科紹介(消化器・肝臓内科)
04. 連携医療機関の紹介

## 診療科紹介/眼科

**当**院眼科では、大学病院としての専門性と、地域の中核病院としての役割の両立を大切にしながら、幅広い眼科診療を行っています。日常によくみられる疾患から、専門的な検査や高度な治療を要する病気まで、患者様一人ひとりの状態に応じた診療を心がけています。ドライアイやアレルギー性結膜炎、眼精疲労といった身近な症状についても、専門的な視点から丁寧に評価し、症状の改善を目指した治療を行っています。また、眼科疾患には加齢とともに増加するものが多く、白内障、緑内障、加齢黄斑変性は代表的な疾患です。大学病院の役割として、適切な時期に最適な手術を行うことを最も大切に考え、治療にあたっています。

白内障は年齢を重ねるにつれてどなたにでもみられ、手術による治療が必要となります。当院では、濁った水晶体を除去し人工眼内レンズを挿入する標準的な手術に加え、乱視を補正するレンズや、遠方だけでなく中間距離の見え方にも配慮したレンズを用い、生活スタイルに応じた見え方の改善を目指しています。

緑内障は、眼圧の上昇などにより視野障害が進行する病気で、長期間にわたる治療が必要です。



眼科 診療医長  
田 聖花

点眼治療を基本としながら、近年では病状が進行する前に、目への負担が比較的少ない手術を行う選択肢も増えています。当科では、マイクロパルス毛様体レーザーやアイステント、プリザーフロなどの新しい治療法を導入し、患者様の病状に応じた治療を行っています。

加齢黄斑変性に対しては、病気の活動性を抑える硝子体注射治療を行っています。現在本邦で処方できるすべての薬剤を扱い、病状に応じて使い分けています。また、網膜剥離や眼底出血に対する硝子体手術も、日常的に多数行っています。診断が難しい疾患や遺伝性網膜疾患については、本院の専門外来と連携して診療を進めています。

さらに、角膜疾患に対しては角膜移植を含む専門的治療を行っています。角膜移植は、海外ドナー角膜を用いた早期手術にも対応しており、アイバンクへのドナー待機登録が不要で、患者様のご都合や病状に沿った手術時期を決めることができます。水疱性角膜症に対しては、培養内皮細胞注入療法などの先進的な再生医療も行っています。円錐角膜や角膜変性症などに対するレーザー治療については、慈恵医大本院や提携医療機関と連携して対応しています。

小児の斜視や弱視についても、本院の専門外来と協力しながら診療を行っています。当院眼科では、大学病院ならではの専門性を生かした質の高い医療を提供するとともに、患者様に寄り添った丁寧な診療を大切にしています。



## ◀◀ 診療科紹介/消化器・肝臓内科 ▶▶

### ● 脂肪肝とは

脂肪肝は年々増えています。悪い生活習慣、つまり食べ過ぎ・飲みすぎ・運動不足が原因となっておきてきます。脂肪肝は、現代の男性の3割、女性の1割がもっている病気です。脂肪肝というと肝臓に脂肪がたまるだけのようですが、脂肪肝があるだけで寿命が短くなることが知られており、特に肝臓が硬くなると予後が悪くなります。脂肪肝でもウイルス性肝炎のように肝臓に炎症をおこし肝臓に炎症があっても自覚症状はほとんどないため本人が知らないうちに肝硬変になっていることがあります。また、脂肪肝の方は、肝癌以外の癌や心筋梗塞や脳梗塞、心不全のリスクが上昇することも明らかとなっています。肝疾患よりも多臓器の癌や脳や心臓の病気の発生の方が多いくらいです。



消化器内科 診療部長  
穂苅 厚史

健康診断で肝機能をチェックするとAST・ALTが測定されます。ALTの正常値は30以下です。30を超えた時には進行性の肝臓病をチェックする必要があります。B型慢性肝炎・C型慢性肝炎・自己免疫性肝炎・原発性胆汁性胆管炎・薬剤性肝障害・アルコール性肝障害の除外が必要です。これらが除外できて肥満・糖尿病・高脂血症・高血圧がある肝障害か、脂肪肝が診断されたら脂肪肝の状態をチェックします。脂肪性肝炎の疑いがあれば肝臓の硬さを調べるのが勧められます。肝臓が硬くなっているかを調べるのは肝生検しかない時代もありました。現在では、腹部エコーやMRIによるエラストグラフィという方法である程度わかるようになってきました。採血だけでもAST・ALT・血小板を測定するだけでFIB-4という値が計算でき肝臓の硬さがある程度わかります。脂肪性肝炎のリスクがなければダイエットにて経過をみることもあります。慈恵医大葛飾医療センターには、脂肪化が定量でき、肝臓の線維化が定量できる腹部エコーが導入されており非侵襲的な診断ができます。

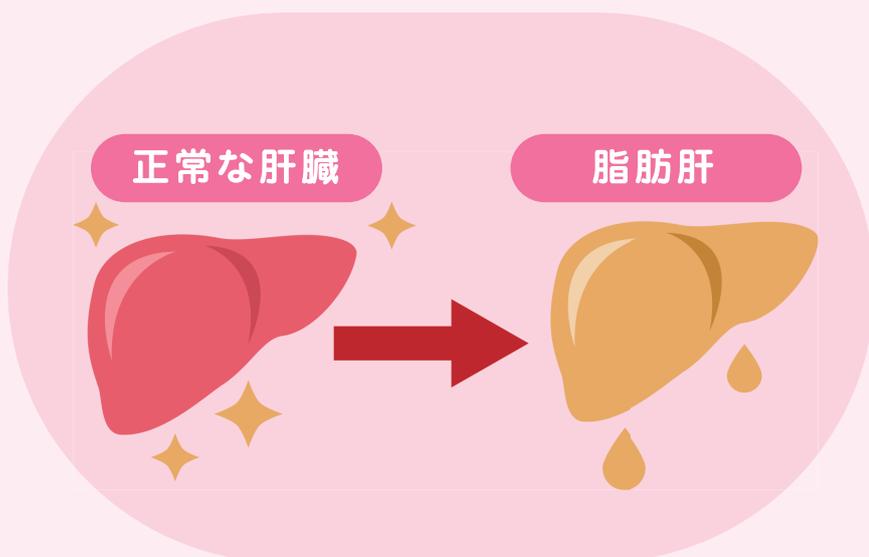


脂肪性肝炎の治療の目標は10%以上のダイエットです。10%以上のダイエットにより肝臓の線維化が改善、7%以上のダイエットで脂肪性肝炎の改善がおきます。高度な

肥満の方では、胃を小さくする手術をすることもあります。ダイエットには、低炭水化物ダイエットが手っ取り早いです。しかし長期的なダイエットは肉より魚に、野菜を多く、油はできればオリーブオイル、ナッツ・豆類をとり、穀物は未精製のものをとるように心がけてください。

現在、脂肪肝の増加により脂肪肝による肝硬変が1割に増えて

います。脂肪肝の方が肝硬変になるのに、糖尿病、肥満、運動不足、果糖の取り過ぎ、アルコール摂取、遺伝的因子等がリスクになります。遺伝的因子は自分ではどうしてもありませんが、生活習慣の改善は重要です。肝機能に異常を認めたらかかりつけの先生に相談して慢性肝臓病のチェックをしてください。



# 連携医療機関の紹介

## コージ歯科のご紹介

### 『元気な体は日頃の口腔ケアから!』

院長の貝塚浩二です。お花茶屋にて20代で開業し、今年で41年目になります。特にレーザー治療、セラミック治療はもちろん、インプラント治療、義歯を得意としています。特にレーザーは10台ありますので、症例にあった波長で治療します。セラミックに関しては、殆どのケースで自院にて対応できますので、技工所に出さない分、早く、安くなります。患者さまの中には「歯科医院は怖い」「歯科治療は痛い」と感じている方がいらっしゃると思いますが、そのようなイメージでは、歯科医院へ定期的に足を運ぶことは難しいと思います。しかし、お口の中の問題は、放置していても良くなることは基本的にありません。定期的に歯科医院でお口の状態を確認し、治療を受けることが大切です。

そのため、私は皆さまが緊張せず、気軽に通えるような歯科医院を目指して、日々の診療に取り組んでいます。ドッグセメント、電動麻酔器、レーザーなどの痛みも少ない治療を目指し、他の設備の充実も頑張っています。娘も勤務医として修行中です。また、新しい試みで幹細胞を使用したアンチエイジング、水素の吸引等や器械の販売、レンタルもしています。

お口の問題でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。皆さまにとって、より良い治療を提供し、末永く健康を維持するためのお手伝いをいたします。患者さまに、いつまでも素敵な笑顔で毎日を送っていただくことが本院の願いです。



院長/貝塚 浩二



## 亀有中央病院のご紹介

2001年に開院した医療法人社団湘南会 亀有中央病院は、東京都葛飾区亀有に位置し、68床すべてが障害者施設等一般病床として認定された専門病院です。パーキンソン関連疾患や多系統萎縮症などの神経難病患者、重度肢体不自由者、重度意識障害者など、急性期治療後も長期療養が必要な患者様を積極的に受け入れております。

本院最大の強みは、障害者病棟として、人工呼吸器を装着された患者様も含め、じっくりと療養いただける環境です。脳血管疾患・運動器・呼吸器リハビリテーションに力を入れ、離床可能な患者様にはリハビリ室や屋上のリハビリガーデンでの訓練を、離床困難な方にはベッドサイドでの個別リハビリを丁寧に実施するなど、充実したリハビリ体制を整え、急性期治療終了後の患者様を速やかに受け入れ、安心して治療を継続できる環境を提供しております。

また消化器外科・栄養管理を専門とする小嶋幸一郎院長の豊富な臨床経験を活かし、褥瘡の予防・治療、胃瘻等を用いた適切な栄養管理にも力を注ぎ、患者様一人ひとりに最適な医療を提供しております。「患者様とご家族が安心して任せられる病院」を理念に掲げ、スタッフ全員が温かく丁寧なケアを心がけております。

地域の医療機関との密な連携を通じて、信頼できる後方支援病院として、ぜひご紹介下さい。



院長/小嶋 幸一郎

